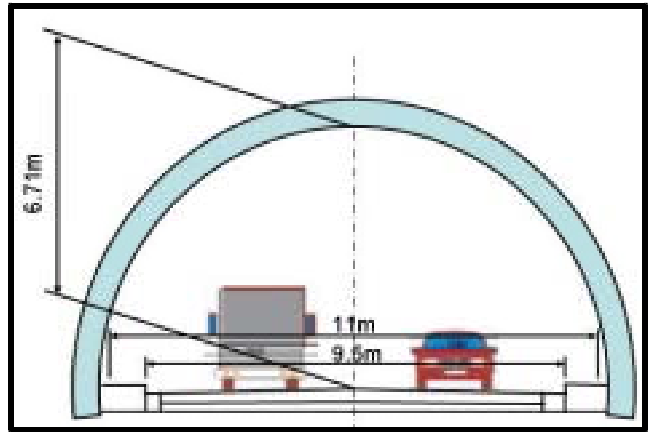


福井トンネル（仮称）の工事概要

工事名：平成15 - 18年度
福井トンネル工事

工事延長：1,279m
・工法 NATM工法
（上半先進ベンチカット掘削）

幅員：9.5m
(1.0+3.5+0.5+3.5+1.0)



工事場所：徳島県阿南市福井町貝谷～
徳島県海部郡美波町田井

工事期間：平成16年2月20日～平成19年2月28日

発注者：国土交通省 四国地方整備局

受注者：大林・不動特定建設工事共同体

工事の特徴

福井トンネルは、日和佐道路のトンネルの内、最も徳島市側に位置し、徳島県阿南市福井町貝谷から海部郡美波町田井を繋ぐトンネルです。

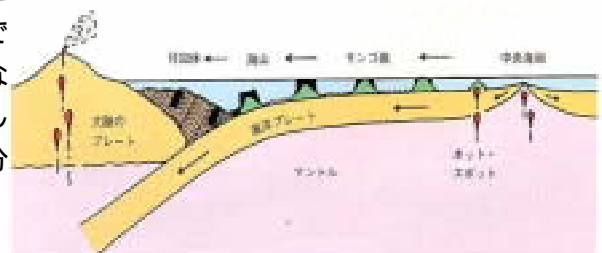
地域住民の振動・騒音対策、工事着手時の工事状況により、本トンネルと最も近接している県道（日和佐小野線）より作業坑を先行掘削し、本体の掘削を行いました。

トンネルの地質は、四万十帯に属する砂岩・泥岩互層が主体で、これは海洋プレートが大陸プレートに沈み込む際に形成される「付加体」と呼ばれる非常に複雑な地質構造で、脆弱な地質となっています。このような脆弱な地質が出現した箇所や、両坑口部、また、沢部で土被りが15m程度と少ない部分については、補助工法（フォアポーリング工法等）によって地山を安定させ、安全に掘削を完了することができています。

<付加体> 海洋プレートが海溝に沈み込む際に、プレートの上にある堆積物や海山はプレートと共に一部は沈み込みますが、すべてが沈み込むことはできず海溝の陸側斜面に押しつけられ、右図のような地層が形成されます。次々と新しいものが付加していきますので、そこでは古い堆積物ほど陸側に分布しています。これを付加体といいます。

四国の自然条件

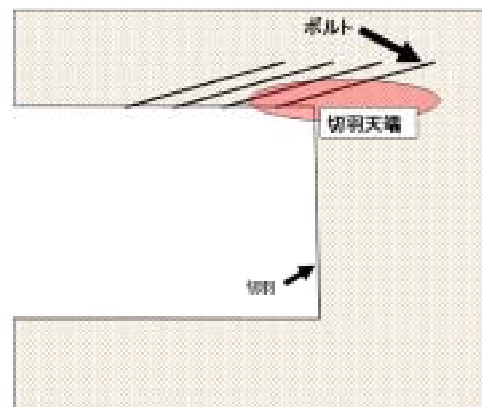
サンゴ礁石灰岩の形成と付加体



イメージ図

<フォア°-リング 工法>トンネル掘削において、切羽天端の崩落防止や緩みの拡大防止を主たる目的として、ボルトにより先受けを行う工法です。天端の崩落および肌落ちが発生した場合、支保の施工が実施できないだけでなく、経済性が低下するとともに緩み範囲が拡大します。品質の面からも崩落や肌落ち等は極力少なくすることが望まれます。

フォア°-リング は天端・切羽の安定を得る工法のうち、その経済性から最も一般的な工法です。



一般国道55号 日和佐道路 福井トンネル(仮称)
現場見学会会場 位置図

会場位置図



拡大図

